

防災ヘリコプター「つくば」就航式について

茨城県防災ヘリコプター「つくば」は、平成7年4月の茨城県防災航空隊発足以来、28年にわたり救助、火災防御、災害応急対策及び救急（ドクターヘリの補完的運航含む。）などの各種活動を行ってまいりましたが、今般、2代目防災ヘリコプターとして平成22年10月に導入した機種を更新し、新機体による運航を開始したことから、関係機関の皆様にご披露するため、下記のとおり就航式を開催いたしました。

記

- 1 日時 令和6年2月16日（金）（10:00～11:00）
- 2 場所 つくばヘリポート（つくば市上境992）
- 3 出席者
 - （1）主催者 防災・危機管理部長、消防安全課長
 - （2）来賓 県防災環境産業委員会委員長、県消防協会長、つくば市選出県議会議員、茨城県消防長会長、各消防本部消防長、陸上自衛隊勝田駐屯地総務部長、茨城海上保安部長 等 約70名
- 4 式次第
 - ・ 開会
 - ・ 主催者挨拶 防災・危機管理部長 山崎 剛
 - ・ 来賓挨拶 茨城県議会議員防災環境産業委員会委員長 高橋 勝則 様
公益財団法人茨城県消防協会長 葉梨 衛様
茨城県消防長会長 大内 康弘様
 - ・ 来賓紹介
 - ・ テープカット（山崎防災・危機管理部長、高橋防災環境産業委員会委員長、葉梨消防協会長、大内消防長会長）
 - ・ 訓練展示（消火タンク装備した機体を使用し、茨城県防災航空隊隊員が飛行・散水訓練を実演）
 - ・ 閉会

○ 新防災ヘリコプターの概要

- ・ 形式 BK117D-3
- ・ 愛称 「つくば」（平成7年度運航開始時に公募により決定。新機体も継承。）
- ・ 機体番号 JA298B
- ・ 主な装備 救助用ウインチ装置、消火タンク、テレビ伝送装置など

※ 新機体の特徴としては、旧機体に比べエンジン性能が向上することから、ホバリング性能が安定し救助活動の安全性が高まります。また、消火タンクは、旧機体の消火バケツに比べ散水容量が1.5倍となり消火能力が向上します。